

# 令和8年度観光振興事業功労者表彰 (関西地域) について

公益社団法人日本観光振興協会関西事務局は、令和8年6月2日(火)に、ザ・リッツ・カールトン大阪で開催した「令和8年度公益社団法人日本観光振興協会関西地域会員会議」にて、「令和8年度関西観光振興事業功労者表彰式」を執り行いました。

令和8年度の関西観光振興事業功労者は、以下6名です(敬称略)。

略歴・功績等は別紙を参照ください。

## <観光振興事業功労者>

■三重県

みやざき けいいち  
宮 寄 慶 一

■滋賀県

ふるたに ひとしげ  
古 谷 仁 成

■京都府

おくむら まさのぶ  
奥 村 昌 信

■兵庫県

まつもと さだと  
松 本 貞 人

■奈良県

たばな としろう  
田 花 敏 郎

■和歌山県

ふるかわ けいじ  
古 川 涇 二



上段左から、日観振 最明理事長、日観振 岡田顧問(JR西日本)、奈良県 田花様(代理尾上様)、和歌山県、古川様、近畿運輸局 金澤部長、大阪観光局 川田常務理事

下段左から、日観振 久須理事(関西統括)、三重県 宮寄様、滋賀県 古谷様、京都府 奥村様、兵庫県 松本様、近畿運輸局 服部局長

<問い合わせ先>

公益社団法人日本観光振興協会 関西事務局 柴田・川畑

E-mail:kansai@nihon-kankou.or.jp

## 令和8年度関西観光振興事業功労者表彰受賞者一覧

	氏名	主な功績
三重県	みやざき けいいち 宮寄 慶一 伊賀上野観光協会 会長 昭和31年4月10日生 伊賀市	伊賀上野観光協会の理事就任以来、長年にわたり伊賀地域の観光振興および情報発信に尽力している。平成17年からは副会長兼広報委員長として、観光情報紙「いがぐり」の制作を約15年間主導し、旅マエ・旅ナカの情報発信を通じて誘客促進に大きく貢献した。現在は会長として地域の観光振興を牽引するとともに、培った知識と経験を活かして後進の育成にも取り組み、地域発展に大きく寄与している。
滋賀県	ふるたに ひとしげ 古谷 仁成 びわ湖高島観光協会 前会長 昭和25年2月27日生 高島市	旧今津町観光協会理事として、また、平成19年からは組織統合後のびわ湖高島観光協会理事として長きにわたり高島市の観光振興に尽力した。 また、平成23年からは、びわ湖高島観光協会会長として組織を牽引し、自然体験交流型観光を推進することで観光地「たかしま」の発展に寄与した。
京都府	おくむら まさのぶ 奥村 昌信 亀岡市観光協会 会長 昭和44年2月19日生 亀岡市	亀岡市観光協会会長などの要職を歴任し、湯の花温泉・保津川下り・嵯峨野トロッコ列車を核とした情報発信や誘客促進を推進し、事業の抜本的見直しや収益事業の強化を進め、持続可能な運営体制の確立に尽力。さらに「バルーンフェスティバル」を企画・推進し、観光閑散期の新たな集客モデルを創出するなど、亀岡市の観光振興に寄与された。
兵庫県	まつもと さだと 松本 貞人 しろう森林王国観光協会 副理事長 昭和35年10月15日生 宍粟市	兵庫県宍粟市波賀町において、地域の特産品開発や観光振興、まちづくり活動を行う団体をまとめ、「波賀元気づくりネットワーク協議会」を設立し初代会長として地域振興に尽力した。また、E-BIKEを活用した森林セラピー事業やサイクルツーリズム事業など、豊かな地域資源を保全するとともに、これらを活用して交流人口の増加を促すなど、宍粟市の観光振興と地域資源の保存活用に大きく寄与された。
奈良県	たばな としろう 田花 敏郎 十津川村観光協会 会長 昭和27年10月19日生 十津川村	十津川村観光協会会長を務め、地域観光の振興を牽引した。平成23年の紀伊半島大水害では、観光業界の復興に向けて関係者や村民を励ましながら復旧・復興を主導。さらにコロナ禍においても、村と連携した観光誘客キャンペーンなどを展開し、観光産業の回復に尽力した。大規模イベントの実施を通じ、地域の賑わい創出と観光産業の活性化に大きく貢献するなど、十津川村の観光振興に寄与された。
和歌山県	ふるかわ けいじ 古川 涇二 和歌山県葵会 顧問 昭和22年6月17日生 白浜町	長年にわたり白浜町および和歌山県の観光振興に尽力し、官民連携の中心として誘客促進を牽引。観光事業者をまとめ国内プロモーションを主導するとともに、「和歌山県葵会」の設立・運営を通じ継続的な取組を推進した。さらに「わかやま12湯推進協議会」などで温泉資源の発信にも貢献。加えて海外誘客にも先駆的に取り組み、東アジアを中心とした誘客基盤を構築するなど、和歌山県の観光客誘致や経済の活性化に大きく寄与した。